

令和6年度 第2回 学校運営協議会 加納の未来を拓く会 議事録【概要版】

司会・記録 教頭 河村

日 時 : 令和7年2月20日(木) 9:30~11:00

出席者(敬称略): 川田 政美 加納東自治会連合会 会長

高木 裕 加納東公民館長

多治見美幸 加納東青少年育成市民会議 会長

棚原 美歌 加納東主任児童委員

世戸 未来 加納東子ども会育成会 会長

小森 龍二 日本プラネタリウム協議会監事 岐阜天文台評議員 元科学館館長

村山 邦博 加納中学校 校長

岩佐 優 加納小学校 校長

河村 泰代 加納小学校 教頭

欠席者(敬称略): ※ご欠席の皆様からは、委任状と評価書をいただいております。

大寶 祥子 お田植踊り指導者

常田 竜太郎 加納小学校 PTA 会長

藤井 佐由美 加納幼稚園 園長

次 第:

1 校長挨拶

2 学習参観

3 本年度の加納小学校について(教頭説明)

4 ご意見

川田会長:

- ・「自ら拓く」意識を子どもに持たせるのは難しい。将来の夢を考えるにあたり、社会の様々な役割を子どもに見せることが大切。
- ・学校には、社会の目立たない支え役も子どもに紹介してもらいたい。
- ・地域活動や歴史学習は工夫が必要。
- ・教師や管理職の努力に感謝している。
- ・災害時の親への引き渡しに課題があり、特に親が戻れない場合の対策が必要。

高木委員:

- ・デジタル機器の普及により視力低下が予想され、対策が必要。
- ・子どもたちの眼鏡使用が増えていることが懸念される。
- ・不登校問題が家庭に悪影響を及ぼすことがある。学校、家庭、警察などの機関が十分に連携できていない。

多治見委員:

- ・子どもたちは指示には従うが、自分で考える力が不足していると感じる。
- ・テクノロジーの発達で答えが簡単に得られるが、問題解決の過程を大切にしてほしい。
- ・自分で考えて行動する力を育むことが重要。
- ・五感を使った学びやプロセス重視の教育が必要。
- ・学校の目標設定に努力が見られ、頼もしく思う。

棚原委員:

- ・授業でタブレットの使用が目立った。
- ・グループでの話し合いが盛んだが、その後の結果をどうまとめるかが気になった。
- ・子ども同士の意見交換において、意見を言える子と言えない子がいる中でのフォローが重要。
- ・安全災害時の家庭との連携は困難だと認識し、事件時の対応についても考慮が必要。

世戸委員：

- ・学校での活動内容が保護者に十分にフィードバックされておらず、活動の詳細を知らない保護者が多い。
- ・地域活動や親世代の参加に対する拒否感があり、そのため地域のサポートが不足している。
- ・保護者の意識を変えるためには活動の成果を明確に伝える必要がある。
- ・学校からの連絡がオンライン化されていることで、保護者に情報がうまく伝わっていない。
- ・学校、保護者、児童の連携が不足しており、三者間の情報共有を改善する必要があると感じている。

小森委員：

- ・学校運営協議会への参加を通じて、先生方の努力や学校の取り組みに敬服し、評価している。
- ・学校のホームページが見やすく、情報がよく整理されている。
- ・子どもたちの自主性を生かした教育が行われていることに感心している。
- ・特に全校児童によるオペラ（来賓として出席）や放送委員会の活動（運動会のエピソード）が印象的だった。
- ・他校では難しい「よいことみつけ」などの教育活動が素晴らしい。
- ・通学路の安全や環境整備に関して、气象台側の門、フェンス内、道路沿いの雑草について改善の提案があった。

村山委員：

- ・学校の取り組みが進化しており、子どもたちの自主性や自己調整力を重視する授業が増えている。
- ・ICT の活用により児童会と生徒会のオンライン交流が円滑に行われ、中学校でもその取り組みを引き続き進めたいと感じる。
- ・中学校では、イベントには参加が多いが、地域清掃などの日常的な活動への参加も促進する必要がある。
- ・教員の自己肯定感を高めるためのバランスを考えつつ、教員同士の連携も強化していくことが重要。
- ・小中一貫教育の推進を踏まえて、今後も教育委員会や他の学校との連携を大切にしていきたいと考えている。

5 挨拶

校長：いろいろな視点からご意見頂戴し、そうだなと思い伺った。ちょうど今、来年に向けて、職員一同でやっている最中。改めて、今日考えさせていただいたことは3点。

1つ目は、子ども達の自己肯定感や向上心、それから不登校の問題等も含めて、本校は非常に割合は少ないのですが、事実、不登校のお子さんが在籍する。自分をもっと好きになれるような教育の在り方を、更に進めていかなければいけない。

2つめは、御家庭との連携。伝えきれていないことがある。学校として、全体の子どもを見ているからこそ気が付くことを、御家庭にもフィードバックをと考えている。学校保健安全委員会で、学校医をお呼びして、本校の子ども達の心身の健康について協議を明日行う。現状でつかんでいることに、子ども達の睡眠時間が少ないということがある。本来、小学生は9時間から11時間が望ましいということが医学的に出ているらしいが、そこまで寝ていないということがわかった。タブレットの問題など様々にあるが、双方向の情報共有を大事にしていきたい。

最後3つ目は、今日の授業についてのご意見やご感想を頂戴する中で、やっぱり先生たちが、もっともっと質の高い要求ができるような、そういう教員になっていかないといけない。研修校という任務を背負っておりますので、鍛え合っていきたいと思います。